

山本よしかず県議会報告

12月県議会では県土整備部の補正予算はありませんが、年度内に終了しない事業について、適正な工期を確保するため、繰越明許費を設定するほか、来年度以降の指定管理者を指定するため、債務負担行為の追加を行う。また、一般国道128号実入バイパス事業(仮称)新実入トンネル建設工事ほかを含めた契約関係と横浜市のマンションに端を発し、県内にも23件のデータの流用等があったことが判明、元請施工者に対し、傾斜・ひび割れ等の有無についての調査や施設の安全性などの確認を求めるとともに、県で発注した3件は、県として独自に現地調査及びびくしい工事の施工データの照合を行い、データの流用等がないことを確認しております。



2015年最後の県議会に望む山本義一県議

至誠にして動かさざるものは、未だこれあらざるなり
 「精いっぱい誠意で相手に接すれば、それで心を動かされない人はいない。すなわち、人を動かさそうと思ったら、まごころを持って、精いっぱい心で接するべし。」

(吉田松陰 格言より)

12月県議会特集

個人番号の利用開始

番号利用法に基づく個人番号の利用開始に伴い、法により規定された社会保障・税・災害対策に関する事務について、庁内においても特定個人情報の授受を可能とするため、条例を制定しようとするものです。

東京パラリンピック幕張メッセ会場承認

11月12日に開催された国際パラリンピック委員会理事会において、東京パラリンピックのゴールボール、シッティングバレーボール、車いすフェンシング、テコンドーの4競技について、幕張メッセを会場とすることが承認されました。

千葉県教育振興大綱

子どもたちの豊かな人間性、郷土と国を愛する心や日本人としての誇りを育むこと、熱意あふれる教員の育成など、教育の根源的・普遍的な考え方を盛り込んでいきます。

企業庁後継組織について

企業庁は、昭和34年に開発部として発足し、以来約半世紀にわたり、土地造成事業や工業用水道事業を担い、浦安市から富津市に至る「京葉臨海工業地帯」を創出したほか、「幕張新都心」や良好な居住環境が整う「千葉ニュータウン」の開発など、本県の基盤整備を推進してきたところであり、千葉県の発展に大きく貢献してきたものと考えます。

しかしながら、その後の社会経済情勢の大きな変化を踏まえ、平成28年度からは、工業用水道事業については、水道局に移管するとともに、地方公営企業法を全部適用する企業土地管理局へと改組し、保有土地の有効活用、処分を進めてまいりたいと考えています。

12月定例県議会 自民党代表質問

TPP交渉の大筋合意を受け、県内中小企業への海外展開支援の基本的な考え方はどうか。

再質問

本県農林水産業への影響をどのように分析、把握しようとしているのか。

高橋副知事答弁 国が示したコマや畜産物などの分析結果を基に、本県の地域特性を十分に分析する必要があることから、関係機関と意見交換を重ね、実情の把握に努めてまいります。

輸入畜産物との競合が想定される本県畜産業の経営基盤の強化に向け、どのように取り組もうとしているのか。

高橋副知事答弁 本県の畜産農家が将来にわたり、意欲を持って生産に取り組むためには、国の政策大綱を踏まえ、県では、新たな所得補てん制度が十分に活用されるよう務めるとともに、畜産クラスターを中心として、新技術の導入や国産飼料の利用拡大などを地域が一体となって進め、収益力の高い生産構造への転換を図ることで経営基盤を強化していく。

海外からの農産物との競合が激化する中、本県農業の体質強化に向け、どのように取り組もうとしているのか。

高橋副知事答弁 TPPによる関税削減により、本県農業の持続的な発展に向けて、生産者の経営力をこれまで以上に強化する必要がある。これをはじめ、影響が懸念される品目の経営安定対策の強化、経営感覚に優れた担い手の育成や輸出拡大など、成長産業化に向けた体質強化対策に対する支援をより充実させ、生産者が引き続き意欲を持って経営できるように取り組んでいく。

新たな輸出国の開拓など、県産農水産物の輸出拡大に向け、どのように取り組もうとしているのか。

高橋副知事答弁 県では、国のTPP関連対策を活用に加え、新たな輸出国や輸出品目の開拓などに務めながら、事業者を積極的に支援するとともに、台湾などに向けて一日も早く輸入規制が解除されるよう取り組む。

国家戦略特区による成田市内に医学部新設に向けた現状はどうか。

森田知事答弁 国において、学校法人国際医療福祉大学が事業者として決定されたことを踏まえ、新設される医学部が地域医療へ与える影響などを確認するため、成田市と同大学との意見交換をしているところであり、

成田市の医学部新設について、県が支援するとした場合、事業者に対して何を求めているのか。

森田知事答弁 新たな医学部の開設にあたり、地域医療への貢献に加え、医師、看護師等の引き抜きによる混乱を生じさせないことなどを成田市とともに、国際医療福祉大学に対して、提示を求め、具体的な対応策を確認のうえ、支援について検討してまいります。

要望

国際医療福祉大学との交渉においては、地域医療への具体的な貢献策を明らかにすることを求め、また、看護師を引き抜くつもりはなくともそのような結果になることも予想されることから、県としても対策を講じながら地域医療への支障がないように交渉を進めるよう強く要望する。

今年度の新型インフルエンザ等対策訓練の実施状況はどうか。

諸橋副知事答弁 幕張メッセで発熱症状のある方を入場制限する実動訓練を県内で初めて実施、また、県内での患者まん延を想定して、千葉県済生会習志野病院で外来患者対応の訓練を実施、今後ともこのような訓練を重ねることで、実際に患者が発生した際に、迅速かつ適切に対応できるように取り組んでまいります。

超高齢社会においては、元気な高齢者の活躍が大切だが、県はどのように取り組んでいるのか。

諸橋副知事答弁 千葉県生涯大学の運営や老人クラブ活動に対する支援を行うことにより、本県における高齢者の仲間づくりや地域のボランティア活動などの社会参加を促進するとともに、「元気高齢者の活躍サポート事業」にも取り組んでおり、元気な高齢者の活躍を支援してまいります。

アンテナショップの今後の展開をどう考えているのか。

森田知事答弁 東京丸の内において先月開設したアンテナショップでは、約160品目の県内特産品の販売や近隣のPRに加え、市町村自らによる観光PR、新商品のテスト販売、移住定住相談会など、様々な催し物が連日行われています。県では、販売実績や来場者アンケートを通じて、新たな特産品を含む県産品の市場評価や、地域の知名度などに、今後の展開に関する課題について検討してまいります。

圏央道の整備状況はどうか。

高橋副知事答弁 本年6月7日に神崎・大栄間が開通したことにより、県内区間の約8割が開通し、残りの大栄・横芝間については、全線にわたる用地取得を進めており、10月時点の用地進捗率は、約30%と国から聞いております。県としては、早期全線開通に向けて、千葉県土地開発公社による先行取得や、沿線市町とともに組織する「用地取得促進プロジェクトチーム」の積極的な活動などにより、

国の用地取得を引き続き、最大限支援してまいります。

外環道の平成29年度開通に向けた整備状況はどうか。

高橋副知事答弁 外環道は、県北西部の慢性的な交通混雑の緩和につながる極めて重要な道路で、県内区間の用地取得が完了し、現在、京葉道路と接続する（仮称）京葉ジャンクションや京成本線菅野駅交差点など、全線にわたって工事が進められています。平成29年度の開通に向け、外環道工事が円滑に進むよう、引き続き、国と高速道路会社につきかかってまいります。

外環道（仮称）京葉ジャンクションのフルジャンクション化に向け、県はどう取組んでいるのか。

森田知事答弁 外環道と京葉道路とを相互に接続し、都心への交通分散や非常時の迂回機能など、大きな役割を担う立体交差施設ですが、現段階では、京葉道路の千葉方面と、外環道の高谷方面とを接続する、二つのランプ計画が未着手の状態とされており、ですが、速やかに機能制限のないフルジャンクション化を図ることが防災においても必要不可欠と判断しており、必要に對し、早期着手を国や道路会社に対し、強く働きかけてまいります。

11月に公表した、「県立学校改革推進プラン」第3次実施プログラム（案）は、どのような考え方で作られたのか。

内藤教育長答弁 県教育委員会は、社会の中で常に志を持ってたくましく生きる力や倫理観、望ましい勤労観・職業観等を育む教育の推進など、今後の高校改革に関する基本的な考え方を示し、多様な生徒のニーズに応える教育環境を整備し、本県の将来を支える人材を育成するために、具体的な計画をとりまとめ公表しました。

を整備し、本県の将来を支える人材を育成するために、具体的な計画をとりまとめ公表しました。

「第3次実施プログラム（案）」により、どのように県立高校の魅力づくりを進めるのか。

内藤教育長答弁 キャリア教育の充実に向けた方策の一つとして、市川南高校に本県初となる保育基礎コースを設置し、生徒に基礎的な知識や素養を身に付けさせるとともに、夢や意欲、職業意識を育みます。また、職業系専門学校の充実を図るための学科再編成や東日本大震災の教訓を生かした防災の学びの導入など、魅力ある高等学校づくりを進めてまいります。



木更津市アウトレット内の千葉県観光情報館を視察する山本県議

八街産業まつりで薬物乱用防止キャンペーンを実施しました。



北村新司八街市長はじめ、加藤弘八街市議長、八街市の優良特産花生推奨協会の皆さんと安倍総理へ八街産落花生を3年続けてお届けしました。



北村新司八街市長はじめ、八街商工会議所女性会系久美津子会長・宮田志津枝副会長が麻生財務大臣へ八街産落花生をお届けしました。



安倍総理からは、「世界一美味しい」と麻生財務大臣からは、早速「今夜の「ビールのおつまみ」にしていただくと喜んで頂きました。

☆ 千葉県や八街市に対してのご意見、ご希望をお聞かせ下さい。 〒289-1116八街市中央20-11 TEL 043(440)7070 FAX 043(440)7030 **山本よしかず** 県議事務所 ホームページ: <http://www.yoshikazu-52.jp/>



ヨッシー君で〜す。

HPもご覧ください。...

検索

